



今月の援農状況

Let's Activate Area AGRI

- 夏野菜のかたづけ 秋野菜の手入れ 越年野菜の準備 などの依頼をいただき 人材=人財 の 募集で 事務局は うれしい多忙感におわれました。
- 野菜出荷作業のお手伝いは 女性会員を中心に 固定的に 継続していただいています。これから 手足がかわかむ寒さの季節—よろしくお願ひします。
- 食用桑の収穫についての打診をいただきました。「桑の都 八王子」—積極対応へ。

援農体験記 「大地の感触を求めて」 清水義秋

洗った地下足袋が縮み小鉤が思うようにかからずイライラ、ようやくビシッと決まり援農モードに突入。三月より犬目町の農家にお世話になり七カ月。農業は全くの素人 とにかくチャレンジと奮闘し三月十日初出勤もトマトの支柱立て作業で握力は失せ 手には豆 初日でヘトヘト。この男は体力・忍耐力に欠けると農家さんに看破され このことが幸しか？ 単調な作業が続かぬよう 又バテ気味と見るや適宜休憩を等々 まことに細やかな配慮を頂き 援農どころか逆にささえ助けられた七ヶ月間でありました。今後はこれまでにご教示頂いたことをベースに 援農活動のレベルを向上させねばと反省。霜降も過ぎ日毎に寒さ厳しくなるこれからの季節は未体験ゾーンですが 寒さ又これもよしの気概であり 地下足袋から伝わる心地よい大地の感触にはまっている今日比の頃であります。



クレソンの栽培

上川口でのクレソン試作が思うにまかせないため その栽培ノウハウを求めて 道志村役場の紹介を頂き 10/3 有志集い 栽培組合を訪問してきました。

- ①クレソンの品種は30種類ほど 野生のものは苦味が強い
- ②種まきは5月の中旬が適期であるが 管理が難しく 根からの育苗が主流
- ③草との戦い — 直根で深く根ののびるセリが 難敵
- ④夏場の温度管理がポイントで 水温が23℃以下でない根から腐る
- ⑤冬場は紫~黒色に変色するが 寒さには強い
- ⑥20~40万円/回・反×年4回収穫 村内の栽培農家は10軒ほど

★上川口の夏場は 水量が少なく かなりの高温になるため 不適地と判断すべきか。



チョット耳にした情報・アドバイス

- (1) 「草との戦い」— 「虫との戦い」— そして 「鳥との戦い」
今夏は草との戦いにおいつめられましたが ようやく収穫のときを迎えたところ 今度は夜盗虫になやまされています—豊作見込みの落花生はカラスの餌食。対策実施が急務。
- (2) 安納芋
この数年 注目度アップの 甘みの高い種子島安納地区産のさつまいも。種イモから育苗し 2カ所で栽培にトライ。11/7の収穫祭で試食いただく予定。
- (3) ちょっと大げさですが 「農耕文化の伝承」
上川口での稲作は参観状況でしたが 一方で いくつかの課題も確認できました。水管理・耕作技術・専用農機具等など 伝承していきたいことがたくさんあります。

農園・SPP・イベント便り

(技術体得・会員交流・遊休地対応 をめざして)



さつまいも収穫風景



マルチ敷き作業 3000 穴

- ★上川口
稲作の不耕起栽培 — 成果は完敗状態。来年は教訓に積極対応するとともに 一方で 動物のサンクチュアリとしても意識したいとの声あり 検討へ。里芋は豊作。
- ★むさしの
粘土質のためさつまいも掘りに難儀 しかし 美味。
- ★ポピー
豊作が多いに期待された落花生は 見事にからすの餌食。
- ★すずらん
ほれほれするほどまでに育ち 見事に結球していた300株をこえる白菜がなんと夜盗虫の餌食に。新たな課題に直面。

「魂をつくせし色や 唐辛子」 (産経俳壇)

♪事務局からのお知らせ♪ 人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

- (1) 「広報 はちおうじ」10月1日版
すずしろ22が紹介されました。早速 問い合わせ・作業依頼・入会申し込みの電話を何件かいただきました。「農業活性化に寄与」するための活動を加速していきたいと思ひます。
- (2) 「ポケットクラブ」
南大沢の障害者施設。すずしろ22より納品した農家野菜をワンコイン価格で販売中。すずらん畑で大収穫のさつまいも掘りをたのしんでいただきました。
- (3) 八王子学生委員会
今月 あらたに 打診いただいた「桑葉の収穫作業」は短期集中型のため これを機に 学生さんのボランティア団体との連携も考え 「八王子学生委員会」と接触予定です。

<発行 会報紙編集会>

合津 highz 85@cosmos.ocn.ne.jp 飛田 emiko tobita@ybb.ne.jp 川口 leaf-river-86@nifty.com